

農家とコスプレ若者が融合

メイド居酒屋で 地域活性化語る

愛知県豊橋市

真っ黒に白粉げた農家に仮装した若者が地域活... 知県豊橋市のメイド居酒屋と、漫画キャラクター「性化を話し合う」。愛... 屋で、こんな出会いの場



メイド居酒屋で地域活性化を目指し活発に意見が交わされる（愛知県豊橋市で）

に、2時間半語り合った。豊橋市でレモンを栽培する河合百樹さん(51)が「なぐさめ合うだけじゃ成長しない」と発言すると、メイドの仮装をした、ろみさんはうなずいていた。会を重ねるうちに、若者たちは相手の目を見て意見を言えるようになっったという。

豊橋百樹人は豊橋市や田原市などの農家ら13人が、マルシェを開くなど地域活性化に努めてきた。出合いによって、農産物の販売促進に萌(も)え

キャラやメイドを使う構想も生まれている。鈴木義弘代表は「こそと違う方法で地域を盛り上げたい」と成果に期待する。12月には、2団体

が合同で農産物の物販イベントを開く予定だ。

が繰り広げられている。主催はコスプレ(仮装)などを通じて地域を盛り上げる任意団体で、農家らでつくる「豊橋百樹人(のうじん)」に呼び掛け、実現した。異なる価値観がぶつかり合っって刺激され、イベントを開く計画も進んでいる。

主催する、ほの国プロジェクトは、市周辺でアニメやゲームなどのサブカルチャーに興味がある

10、20代の若者が集まっ「仲間とはっ」をテーマ

て、昨年結成した。戸川拓馬代表が市のイベントで豊橋百樹人と知り合い、「農家の熱さと意識の高さにしびれた。若者が刺激を受けられればいい」と、一緒に活動しようと呼びかけた。

若者が農家の考え方に触れようと昨年8月に1回目を開き、半年のペースで続けている。今月上旬に開いた会には農家9人と若者10人が集まり、